

第1次交通安全計画（案）に係る市民政策コメントの意見及び意見に対する市の考え方

- 1 募集期間 令和5年2月20日（月）～令和5年3月13日（月）  
 2 募集結果 1名（6項目）

No.	意見	意見に対する市の考え方
1	<p>子どもに対する交通安全教育の推進</p> <p>統計では、子どもの交通事故の年齢別構成として、未就学児童及び小学校1年生、2年生の比率が高く、学年が上がる程、その比率は下がっている状況にあります。従って低学年とりわけ、生活環境が大きく変わる新入学児童に対する集団的教育が重要です。また、低学年児童に対しては制服警察官による講習が効果的だと考えます。</p>	<p>子どもに対する交通安全教育の推進については、P13『第1部 道路交通安全－第2章 講じようとする施策－第2節 交通安全思想の普及徹底－1 段階的かつ体系的な交通安全教育の推進』に位置づけていますので、効果的な交通安全教育の推進に努めます。</p>
2	<p>保護者に対する交通安全教育の推進</p> <p>子どもの交通事故が大幅に減少した理由として、保護者の日常的な教育があるともされています。1970年頃には運転免許証を取得している保護者、とりわけ女性は少なく、家庭での日常生活を通じての実践的な指導ができなく、歩行中、自転車利用中の事故が多くを占めています。その後、保護者の運転免許の取得が増え、その結果として交通ルールが浸透し、家庭内での実践的な指導が行われた結果でもあると言われています。近年では、子どもの死傷事故は車両同乗中での割合が多くなっています。このため、新入学児童の保護者に対して子どもの交通事故実態を周知し、家庭内での交通事故防止活動を行うことが重要と考えます。</p>	<p>保護者に対する交通安全教育の推進については、P13『第1部 道路交通安全－第2章 講じようとする施策－第2節 交通安全思想の普及徹底－1 段階的かつ体系的な交通安全教育の推進』に位置づけていますので、保護者を対象とした交通安全講習会等の開催の促進に努めます。</p>

No.	意見	意見に対する市の考え方
3	<p>高齢者の交通安全教育の推進</p> <p>高齢者が交通事故の当事者になることの要因に、判断力、視力等の低下によるとされていることが多いが、歩行中、自転車利用中では、急な右折や道路横断中に被害に遭うことも少なくない。これは聴力の衰えにも起因している。人は、道路横断や右折するときには後方を確認しないで、行動することが老若男女を問わずに往々にしてあるが、そのような行為をするのは、後方の音で危険性の有無を判断しているためで、聴力の衰えている高齢者等には危険な行為となる。</p> <p>このような状況から、高齢者、特に運転免許証を取得していない者に対する交通安全教育も推進する必要があります。</p>	<p>高齢者の交通安全教育の推進については、P14『第1部 道路交通の安全－第2章 講じようとする施策－第2節 交通安全思想の普及徹底－1 段階的かつ体系的な交通安全教育の推進』に位置づけていますので、様々な立場に応じた交通安全の推進に努めます。</p>
4	<p>交通安全講習のあり方</p> <p>交通事故件数が前年と比較して「減少した、増加した」ということをよく聞くが件数の増減はあまり意味を持たない。多くのデータを分析した上で、受講対象者に併せて具体的に講習することが、意義あるものとなると考えます。</p>	<p>交通安全講習のあり方については、P15『第1部 道路交通の安全－第2章 講じようとする施策－第2節 交通安全思想の普及徹底－2 効果的な交通安全教育の推進』に位置づけていますので、参加者に応じた、柔軟に多様な方法を活用するなど、効果的な交通安全教育に努めます。</p>
5	<p>ガードレールの設置</p> <p>近年に限らず、歩道を通行中の歩行者が、車両にはねられ死傷するという事故が発生しています。本県においても、歩道を通行途中の通学中の小学生児童が犠牲になっています。速度の出た車両は、車道と歩道を区分する縁石程度ではこれを乗り越えることは珍しいことではありません。このような事故を防ぐには、可能な限り強靱なガードレールの設置を図ることが必要です。</p>	<p>歩行者・自転車利用者が安心して通行できるよう、警察等関係機関と連携を取りつつ、頂いた意見を参考としながら進めてまいります。</p>
6	<p>中央分離帯の設置</p> <p>道路形状にもよるが4車線程度の道路には、中央分離帯を設置することが望ましいと考えます。横断禁止場所であっても歩行者、自転車利用者が道路横断することがあります。危険な行為であり、中央分離帯はこれを防ぐのに効果があります。</p>	<p>歩行者・自転車利用者が正しく安全に通行できるよう、警察等関係機関と連携を取りつつ、頂いた意見を参考としながら進めてまいります。</p>